

さかえ区社協だより

No.17

発行：社会福祉法人 横浜市栄区社会福祉協議会

〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷3-32-12 (栄区福祉保健活動拠点内)

電話 045 (894) 8521 Fax 045 (892) 8974

E-MAIL: sakaesha@super.win.ne.jp 平成15年1月20日発行 承認：栄区連第49号

栄区社会福祉協議会と福祉教育

福祉教育とは、福祉を学ぶことです。福祉をひもとくと、「幸福」となります。幸福は一人ひとり違うものです。その一人ひとり違う「幸福」を実現していくためには、いろいろな考え方などがあることを知り、お互いに尊重していくことが大切なことです。

「福祉教育」と聞くと、「教育」という言葉があるためか、「学校」で行われているということがまず頭に浮かぶかもしれませんが、学校で学ぶことだけが、福祉教育でしょうか。学校で学ぶこと、家で学ぶこと、社会で学ぶこと、と様々な場面で出会い知ることが福祉の教育ではないでしょうか。

栄区社会福祉協議会では、様々な視点を持つ機会を増やすために地域、施設、学校などと一緒に福祉教育に取り組んでいます。

たとえば・・・



シニア体験セット



シニア体験中

学校への出張講座を通して

社会福祉協議会はボランティアなどと共に、シニア体験や車いす体験などの出張講座を行い、それらを通して福祉について学ぶ機会を作っています。



福祉教育の教材開発！-わくわくワーク-

横浜市社会福祉協議会では、小学校高学年からの福祉教材として、わくわくワークを作りました。わくわくワークはクイズかるたやフォトランゲージを使って、「やわらか あたま あったか はあと」の4つのワークを探検します。探検を通して、いろいろな感じ方や考え方があることを知る機会とができればと思っています。わくわくワークは栄区社会福祉協議会にて1セット2,000円で販売しています。

本誌は自治会町内会のご協力で全世界に配布しています。

出張講座～福祉に関する体験学習(庄戸中学編)～

「車いす体験」「シニア体験」「点字学習」の3つを社協より出張講座として行いました。区内のボランティア団体「たんぼぼ」と「野菊」が応援・指導しました。

学校

生徒達の声

シニア体験

「重装備で重りが重く、関節が動きにくかった。」シニアの方の体の動きの不自由さを身を持って感じたようです。



点字学習

「点字を打つのが難しく、目の不自由な方がすごさがわかった。」



車いす体験

「車いすに乗る人は介助者に命を預けているのです」との説明があると、生徒たちは、はっとして気持ちを引き締めたようでした。「前に進む時は、そうではないが、後ろに進む時はこわかった。押している時はこわさを感じなかったが、乗っている時はこわかった。」



ふくし

最後にボランティア団体の方から、「この体験をもとに今後町の中で困っている人を見かけたら積極的に手助けしてほしい」とのお話があり、みんな深く頷いていました。

中学校では、この他に福祉教育の一つとして地域の特別養護老人ホームや保育園への訪問をしています。そして、このような体験を通して、施設で仕事をする人たちの姿も含め生徒が将来、働くということ、職業などについても考えるきっかけとなればと思っているとのことでした。

活かされたみんなの力 ～地域・学校・子ども(地区社協編)～

豊田地区社会福祉協議会では、毎年11月のはじめ飯島小学校の体育館に於いて、65才以上のひとり暮らしと70才以上の高齢者世帯の方をお招きして、美味しい芋煮を食べながら楽しいひとときを過ごしていただく「みのりの集い」を開催しています。

「こどもとお年寄りのふれあいの場」として今年13回目を迎えたこの集いには、地域の連合町内会、民生委員・児童委員をはじめ各種団体、ボランティアに交じって、大勢の飯島小学校と飯島中学校の児童・生徒が会場の設営やお年寄りの話し相手などの手伝いをしています。

地域



最近、小・中学校では福祉教育が盛んに行われるようになり、こういう機会に是非、参加させて欲しいという学校の要望もあって、特に中学生は毎年30名以上の人達が来ればきと仕事をこなし、若い力の頼もしさを見せてくれます。受付では「こんにちはー！よくいらっしゃいました」とお年寄りを迎えるのですが、最初は日頃お年寄りと接する機会の少ない小・中学生たちも緊張が隠せません。でも、だんだん慣れてくるにつれて笑顔で話す余裕もみられるようになり、なかなか微笑ましいものです。また、プログラムの中に飯島小学校児童の「金管バンド」の演奏や飯島中学校生徒の「コーラス」があり、お年寄りもとても楽しそうです。

こうした集いを通して、お年寄りの話し相手をしたり、お年寄りから昔の遊びを教えてもらったりというふれあいの場ができ、和やかな雰囲気に参加されたお年寄りにも喜ばれています。



区社協情報コーナー

☆世代間交流ひだまり☆

小菅ヶ谷地域ケアセンターを拠点に活動している「小菅ヶ谷地域支えあい連絡会」はお年寄りから子どもまで誰でも自由に参加できる交流の場として「ひだまり」を立ち上げました。毎月第4土曜日に開催し、気楽におしゃべりや遊びを楽しみ、なごやかなムードの中で、明日への活気と連帯感などお互いに支えあって、住みよい地域づくりを目指しています。ぜひ、お気軽にお立ち寄りください。

問合せ先：小菅ヶ谷地域ケアセンター
TEL: 896-0471

☆ようこそであい広場☆

福祉保健活動拠点を利用している団体による模擬店・バザー・活動紹介などのおまつりです。

日時：平成15年3月16日(日)
10:30~14:30

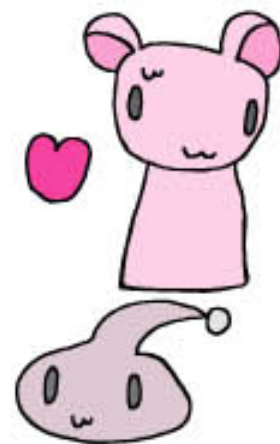
場所：栄区福祉保健活動拠点&
小菅ヶ谷地域ケアセンター
栄区生活支援センター

問合せ先：栄区社会福祉協議会
TEL: 894-8521

ーちょっとした耳より情報ー

「介護帰省バス」両親の介護のために帰省する時に、航空運賃が割引になります。必要な書類をそろえて、JASの窓口申請・提出するとその場で、発行されます。

必要な書類：戸籍謄本、写真、本人を確認できるもの、介護保険証の写し(要支援以上の認定が必要となります)



栄区の地区社会福祉協議会（地区社協）

豊田地区社協

豊田地区社協では、平成13年度から地域のみなさんの協力によって「ふれあいサロン」事業を行っています。参加費100円で、お茶とお菓子を頂きながら会話を楽しんだり、近所同士のふれあいの場として大変喜ばれています。

☆ことぶきサロン（長沼町内会館・毎月第2木曜日午後1時30分・月1回の老人会の誕生日に出られない人や外出の機会が少ない方）

☆つつじの会（飯島団地集会場・毎月第4火曜日午前または午後・地域のミニディサービスに参加できない方）

☆本郷台ふれあいサロン（本郷台自治会館・毎月第2金曜日午後1時30分・おおむね65歳以上の方）

また、平成14年7月から、芙蓉台自治会でも、芙蓉台ふれあいの会が開催されるようになり毎回60名ぐらいの参加者があり大盛況です。

☆芙蓉台ふれあいの会（県立豊田高校会議室他・月1回日曜日・65歳以上の方）

この他、平成14年4月より豊田地区民生委員・児童委員協議会の運営で小・中学生を対象に放課後のたまり場「エンジョイパーク・とよだ」が毎月第2・第4月曜日午後3時から6時までの間「豊田地域ケアプラザ」において開催されています。遊び道具もたくさんそろっていますので、気軽にお立ち寄りください。

上郷西地区社協

上郷西地区社協は、民生委員・児童委員、シニアクラブ、連合町内会など福祉活動に関係する方々で構成して活発に活動しています。活動事例を紹介します。

○毎年9月15日(敬老の日)に、70歳以上の方をお招きして、上郷中学校の体育館において、「敬老の集い」を開催しています。今年度で、第20回を数えます。

○平成13年6月、「町ぐるみ健康づくり実行委員会」を発足して、月に2回の2時間程度の健康ウォーキングを実施し、参加者は毎回50名を越えています。また、福祉保健センターのご協力をいただいて、健康講座、健康料理教室、健康づくり体操などを年間計画を立てて行い、大変に好評でたくさんの方に参加して頂いています。

○今年度は、民生委員・児童委員、友愛活動推進員が中心になって、「高齢者サロン」を開設しました。月に1回（第1金曜日）に開催しています。

○その他、連合町内会と共催で、「盆踊り大会」「ふれあいスポーツ大会」「どんど焼きとさわやかスポーツ大会」「早起きふれあいうラジオ体操」など、3世代交流を目的に「ふれあい事業」を展開しています。



※次回の地区社協の紹介は本郷中内地区と本郷第三地区です。

【編集後記】

いつものことながら、今回の編集委員会も大いに議論の場となった。

特に、今回のテーマが福祉そのものずばり。それだけに委員の発言も前向きに、積極的に行われた。

各地区代表やボランティアの方々の発言の中から、それぞれが生活している地域での福祉教育、福祉活動の中から、新しい発見がある。

展望が開ける。昨日、本日そして、その過去の実績から「明日」に向かっていっそうの福祉の充実を図りたいものである。

社協を名実共に大きな拠点として！

栄区社会福祉協議会
広報編集委員会

